

第3期日出町教育振興計画

【素案】

日出町教育委員会

目 次

第1章 計画策定にあたって

1 計画の概要

(1) 計画策定の趣旨	01
(2) 計画の位置づけ	01
(3) 計画の期間	01

2 第2期計画の検証

(1) 第2期計画の点検及び評価	02
(2) 第2期計画の総合評価	02
(3) 今後の課題	03

第2章 振興計画

1 計画の基本理念

04

2 基本目標

05

3 基本的施策

06

基本目標1 教育環境の充実

1 学校施設の長寿命化に取り組みます	07
2 中長期的な視点で設備の老朽化対策を行います	08
3 学校給食の充実を図ります	09

基本目標2 学校教育の充実

1 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育を推進します	10
2 社会の変化に対応する教育を展開します	12
3 安全・安心で質の高い教育環境を確保します	13

基本目標3 社会教育の充実

1 誰もが生涯にわたって学ぶことのできる環境を整備します	14
2 様々な体験を通じて子どもたちを育成します	15
3 地域の交流イベントを支援します	16
4 文化・芸術に慣れ親しむ環境を整えます	17

基本目標4 文化財・歴史の継承

1 文化財の保存・活用を推進します	18
2 魅力や誇りを育む文化財を創出します	19
3 歴史資料館・帆足萬里記念館の更なる活用を進めます	20

基本目標5 スポーツの振興

1 スポーツでまちを盛り上げます	21
2 スポーツ人口を増やします	22
3 安心してスポーツが楽しめる環境を整備します	23

基本目標 6	図書館の充実	
1	図書館活動・サービスを充実します	24
2	魅力的な展示やイベントを開催します	25
3	子どもの読書活動を推進します	26
基本目標 7	人権意識の向上	
1	人権に対する正しい知識と理解を深める取り組みを推進します	27
基本目標 8	職員満足度の向上	
1	誰もが働きやすい職場づくりを推進します	28
4	SDGsの取り組み	
(1)	SDGsとは	29
(2)	日出町の取り組み	29
(3)	日出町教育振興計画とSDGs	29

1 計画の概要

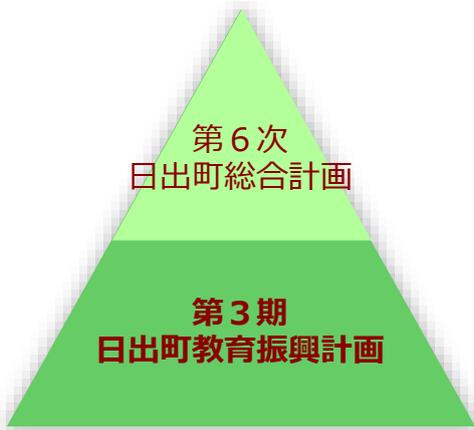
(1) 計画策定の趣旨

わたしたちの町では、平成30年度から令和7年度までを計画期間とする「第2期日出町教育振興計画」を策定し、令和3年の改訂を経て、未来に続く人と文化を育むまちづくりに取り組んできました。

この間、新型コロナウイルス感染症の脅威や、人口減少・少子高齢化、急速に進化するICT技術など、激変する社会情勢により、わたしたちの町も大きく変化しています。

この計画は、こうした教育を取り巻く社会の変化の中において、これからの新たな時代を切り開き、**人を育み、心を豊かにするまち**をつくるために、「第6次日出町総合計画」に基づき策定するものです。

(2) 計画の位置づけ



この計画は、わたしたちの町の最上位計画である第6次日出町総合計画に基づく**教育・文化的な豊かさ**の実現を目指すための実施計画となるものです。

また、この計画は、教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項に基づく、「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として、わたしたちの町における教育の中・長期的な方向性を明らかにするとともに、年度ごとの教育方針を定める際の指針となるものとして位置づけられます。

(3) 計画の期間

この計画の期間は、**令和8年度から令和15年度まで**の8年間とします。ただし、毎年実施状況の検証を行い、必要に応じて、見直しを行うこととします。



2 第2期計画の検証

(1) 第2期計画の点検及び評価

第2期日出町教育振興計画（第2期計画）には、20の基本目標と41の基本的施策がありました。この基本的施策に基づく実施事業の翌年度に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、学識経験を有する者の知見を活用して、点検及び評価を実施しています。

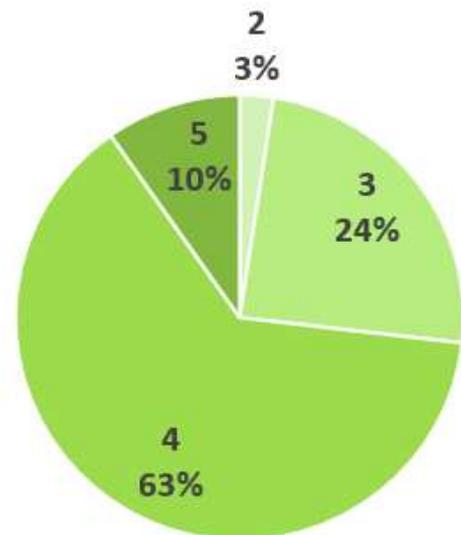
評価は、次の5段階とし、担当課、教育委員会委員、点検・評価第三者委員会委員がそれぞれ行い、平均値を総合評価としています。

- 5：妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
- 4：妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
- 3：成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
- 2：成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
- 1：成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

(2) 第2期計画の総合評価

第2期計画の41の基本的施策について、令和6年度に実施した事業は、令和7年度に評価を行いました。目標値が下回るものも多くあり、さらなる改善が求められています。

	評価区分	総合評価
5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。	4件
4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。	26件
3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。	10件
2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。	1件
1	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。	0件
	合計	41件



基本目標	基本的施策の総合評価					
	1	2	3	4	5	計
1 確かな学力の向上				2		2
2 豊かな人間性の育成				1		1
3 健康・体力づくりの推進				1	1	2
4 グローバル人材の育成				1		1
5 特別支援教育の充実					1	1
6 幼児教育の充実				1		1
7 子どもの学びの保障		1	1			2
8 時代の変化に対応した教育環境の整備				2		2
9 教職員の働き方改革の推進				1		1
10 学校給食の充実				3		3
11 地域とともにある学校づくりの推進				1	1	2
12 地域活動の充実			1	1		2
13 多様なニーズに応じた学習機会や学習内容の充実				1		1
14 地域における子どもの健全育成				3		3
15 読書のまちづくりの推進			3		1	4
16 文化・芸術の振興			3			3
17 歴史文化遺産を活かしたまちづくり				3		3
18 生涯スポーツの振興			1	2		3
19 競技スポーツの振興			1	1		2
20 社会教育における人権・同和教育の推進				2		2

(3) 今後の課題

学校においては、学力向上の取組みが成果を見せているほか、授業の工夫や改善が進み、特に人権教育、道徳教育などの実践が児童生徒の「学びに向かう力、人間性」を育てることに繋がっているとと言えます。教職員の公開授業への参加や地域との連携、食育の取組みも評価されており、教育環境の整備が着実に進展しています。

しかし、ICTの活用、いじめや不登校への対応には引き続き努力が必要です。男女ともに体力向上を目指すことや特別支援教育の充実についても、今後も継続的な取組みが必要です。

社会教育では、公民館活動やスポーツ活動などの取組みを進めています。成果に表れていない取組みもあり、今後、地域の結びつきを強化することが求められています。文化活動においては、その充実が期待される中で指導者の育成が課題となっており、こうした取組みを通じて、新しい地域活動を構築していく必要があります。

1 計画の**基**本理念

わたしたちは、先人から受け継いだ豊かな自然や薫り高い文化を守り、住んで良かったと思えるまちをめざして、日出町民憲章を定めています。この憲章では、「互いに尊重し助けあい、共に子どもたちを育み、笑顔のあふれるまち」、「歴史や文化を重んじ、創意をかさねて次代に引き継ぎ、躍進するまち」、「仕事や勉学に勤しみ、活力に満ちたにぎわいのあるまち」をめざしており、教育・文化を重んじています。

このことは、江戸時代に日出藩の藩校として設立された「致道館」があり、豊後三賢人の一人として知られる「帆足^{ばんり}万里」を輩出するなど、日出町が「文教の町」として知られていることからもうかがえます。

この計画においては、子どもたちをはじめ、全ての町民が更なる教育・文化的に豊かになるように、「人を育み心豊かなまち」という基本理念を掲げ、教育の振興を推進します。

基本理念 「人を育み心豊かなまち」

2 基本目標

基本理念を実現するために、第6次日出町総合計画に基づき、教育における様々な分野を網羅する**8つの基本目標**を設定することとします。



3 基本的施策

8つの基本目標を達成するために、これらの目標に沿った**21の基本的施策**を定めて、計画的かつ総合的に推進することとします。

基本目標	基本的施策
1 教育環境の充実	<ol style="list-style-type: none">1 学校施設の長寿命化に取り組みます2 中長期的な視点で設備の老朽化対策を行います3 学校給食の充実を図ります
2 学校教育の充実	<ol style="list-style-type: none">1 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育を推進します2 社会の変化に対応する教育を展開します3 安全・安心で質の高い教育環境を確保します
3 社会教育の充実	<ol style="list-style-type: none">1 誰もが生涯にわたって学ぶことのできる環境を整備します2 様々な体験を通じて子どもたちを育成します3 地域の交流イベントを支援します4 文化・芸術に慣れ親しむ環境を整えます
4 文化財・歴史の継承	<ol style="list-style-type: none">1 文化財の保存・活用を推進します2 魅力や誇りを育む文化財を創出します3 歴史資料館・帆足萬里記念館の更なる活用を進めます
5 スポーツの振興	<ol style="list-style-type: none">1 スポーツでまちを盛り上げます2 スポーツ人口を増やします3 安心してスポーツが楽しめる環境を整備します
6 図書館の充実	<ol style="list-style-type: none">1 図書館活動・サービスを充実します2 魅力的な展示やイベントを開催します3 子どもの読書活動を推進します
7 人権意識の向上	<ol style="list-style-type: none">1 人権に対する正しい知識と理解を深める取り組みを推進します
8 職員満足度の向上	<ol style="list-style-type: none">1 誰もが働きやすい職場づくりを推進します

教育環境の充実

1 学校施設の長寿命化に取り組みます

8年後の姿

- 計画的な長寿命化改修と情報発信により、保護者や地域住民との繋がりが強くなり、安全で快適な学びの環境が整うことで、子どもたちはより集中して学ぶことができるようになっています。

いまの姿

- 学校施設は、多くが昭和 50 年代に整備されたことから、8割が築 30 年以上を経過し、7割が築 40 年以上を経過しています。しかし、学校施設の老朽化対策には、多額の費用を要するため、集中的に行うことが困難な状況となっています。
- 令和 2 年に日出町学校施設長寿命化計画を策定し、学校施設の長寿命化改修を計画的に整備することとしています。しかし、翌令和 3 年下半期から始まった物価高騰の影響を受けていることから、国からの財政的支援を活用するなどの効率的な計画の実現が必要となっています。

主な取り組み

- **学習環境と安全性を重視し、学校活動に支障のない長寿命化改修を行います。**
日出町学校施設長寿命化計画に基づいて、学校施設の計画的かつ効果的な長寿命化改修による教育環境整備を進めます。
- **長寿命化改修の内容や進捗状況などの情報を分かりやすく発信します。**
学校を通じた情報発信のほか、町報やインターネットを活用して広く長寿命化改修の内容や進捗状況などの情報発信を行います。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和 7 年度	令和 11 年度	令和 15 年度
長寿命化実施学校数（累計）	0 校	1 校	3 校
情報発信実施回数（累計）	0 回	16 回	32 回

教育環境の充実

2 中長期的な視点で設備の老朽化対策を行います

8年後の姿

- 多様なニーズに対応する多角的な視点を持った老朽化対策に取り組むことにより、新しい時代に対応した学校・幼稚園で子どもたちが学んでいます。

いまの姿

- 学校・幼稚園施設は、昔の基準で建築されていることから、バリアフリー化、ICT化、防災・防犯機能強化、脱炭素化といった新しい時代が求める教育環境が十分ではありません。
- 多様な子どもたちのニーズや、デジタル技術を取り入れた学習への対応といった新時代の学びを支える安全・安心な施設・設備の整備が必要となっています。

主な取り組み

- ICT化、防災・防犯機能強化、脱炭素化などの新時代の要請に応え、中長期的な視点に立った設備機能の整備を行います。

日々進化するICT機器の計画的な整備、災害や不審者から子どもたちの安全を守るための防災・防犯機能強化、ZEB化等によるSDGs達成といった、これからの日出町を担う子どもたちにとって、相応しい設備機能の整備を進めます。

- 将来にわたって多様なニーズに対応できるよう、速やかなバリアフリー化を行います。バリアフリースイレ、スロープ等による段差解消、エレベーターの整備をはじめとして、校舎・園舎、屋内運動場、敷地内通路等を含め、障害等の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校・幼稚園生活を送ることができる環境の整備を進めます。

■成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
新たに設備機能を整備した件数（累計）	0件	6件	12件
新たにバリアフリー化した件数（累計）	0件	6件	12件

教育環境の充実

3 学校給食の充実を図ります

8年後の姿

- 食の安全と地産地消が定着し、成長期の子どもたちに必要な栄養バランスの取れた食料が確保された、おいしくて持続可能な安心の給食提供体制が確立しています。

いまの姿

- 給食センターは令和3年に新築され、変わらずおいしい給食が提供されています。

主な取組み

- **子どもの意見を取り入れた質の高い給食の提供に取り組めます。**

試食会での保護者等の意見や、給食アンケートによる子どもたちの嗜好も考慮した多様なメニューの提供によって、喫食率の向上を図ります。

郷土食や旬の食材、地産地消といった多様な食体験を提供することで、食に関する関心と理解を深め、心身の成長と豊かな食文化形成を促します。

- **安全でおいしい給食を提供するため、食材の安全確保と地場産物の利用拡大を推進します。**

食材の入荷検査を徹底するとともに、地元生産者や団体と連携して地場産物の活用を推進し、地域農業の発展を支えながら、安全でおいしい給食を安定供給します。

- **食中毒や異物混入を防止するため、給食提供の工程と施設設備の管理を徹底して行います。**

衛生管理基準を遵守し、設備の保守点検や適時交換、職員の健康診断等のルールに基づく管理を徹底することで、食中毒や異物混入を防止します。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
残菜率	10.1%	9.0%	8.0%
地場産物の使用率	21.4%	25.0%	30.0%
事故発生件数	0件	0件	0件

学校教育の充実

1 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育を推進します

8年後の姿

- 子どもたち一人一人が自分のよさや可能性に気づき、学力や体力、豊かな人間性が育まれています。

いまの姿

- 学力においては、令和6年度大分県学力定着状況調査の結果から、小・中学校ともに、実施された全ての教科で正答率が県平均を上回っており、一定の成果が表れています。
- 体力においては、令和6年度全国体力・運動能力等調査の結果から、小・中学校ともに、運動への愛好度が90%を超え、全国・県に比べて高くなっています。
- 令和6年度全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、「楽しい」という肯定的な回答が、小学校は87.7%、中学校は90.0%となっています。

主な取組み

- 確かな学力の育成に向け、問題解決的な展開による学習活動の充実、ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善を進めます。**
 - ・各種学力調査結果を分析し、授業改善に生かします。
 - ・授業の質の更なる向上を目指し、組織的な授業改善に取り組みます。
- 豊かな人間性の育成に向け、道徳教育・人権教育・読書活動・体験活動の充実に取り組みます。**
 - ・人権尊重の3視点（自己存在感を持たせる支援、共感的関係を育成する支援、自己選択・決定の場の設定）を取り入れた授業づくりを進めます。
 - ・地域人材を活用した多様な体験活動の充実を図ります。
- 健やかな体の育成に向け、運動の楽しさや喜びを実感し、日常的に運動に取り組むことができる学校体育の充実に取り組みます。**
 - ・「わかる」「できる」「楽しい」授業に向けた取組みを進めます。
 - ・運動の愛好度を高めるために、組織的な体力向上の取組みを進めます。
- 幼児教育・小学校教育の円滑な接続に向け、架け橋期の教育の充実、関係機関との連携・協働による切れ目のない支援を行います。**
 - ・「幼保小」が協働した「架け橋期のカリキュラム」の作成を促進します。
 - ・研修や情報交換会等による「幼保小」及び関係機関の連携を強化します。

●特別支援教育においては、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実に取り組みます。

- ・「個別の指導計画」、「個別の支援計画」の作成と効果的な活用を進めます。
- ・校内及び校種間の連携強化と相談支援体制の充実に図ります。

■成果指標

指標名		基準値	目標値	
		令和7年度	令和11年度	令和15年度
学校が楽しいと思う児童・生徒の割合		88.9%	92%	95%
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		78.8%	90%	90%
「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の割合	小学生	93.9%	95%	95%
	中学生	88.8%	90%	90%
新体カテストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合	小学生	85.3%	85%	85%
	中学生	78.7%	80%	85%
架け橋期のカリキュラムを作成した幼児教育施設の割合		0%	100%	100%
「個別の支援計画」の作成率と年1回以上の見直し		100%	100%	100%

学校教育の充実

2 社会の変化に対応する教育を展開します

8年後の姿

- 先端技術の活用や外部機関との連携による体験活動をとおして、自己の在り方や生き方を考えながら、自ら課題を発見し解決していくための資質・能力が育まれています。

いまの姿

- 学校では、外部人材を活用した特別授業、講演等が定期的を実施しています。また、学校運営協議会や地域住民、保護者等による学校行事や授業、学習活動の支援が、年間をとおして行われています。
- 令和6年度全国学力・学習状況調査における「ICT機器を使用した授業頻度」に関する質問では、「ほぼ毎日使用している」と回答した児童・生徒の割合が、21.1%となっています。
- A L Tとの授業が「楽しい」と回答する児童の割合が90%を超えています。

主な取組み

- **産業人材の活用など、産業界等との連携による探求的な学びを推進します。**
 - ・ 地域とともにある学校づくりを推進します。
 - ・ 外部機関との連携による学校外の学びの充実を図ります。
- **デジタル教材等の先端技術を活用し創造性を育む学びと校務の効率化に取り組みます。**
 - ・ I C T機器及びデジタル教材等を活用した授業の充実を図ります。
 - ・ 先端技術の利活用による校務の効率化を図ります。
- **外国語教育を推進し、グローバル人材の育成に取り組みます。**
 - ・ 英語専科教員や外国語指導助手の配置と効果的な活用を進めます。
 - ・ 外国人や世界で活躍する人材との交流活用を進めます。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
外部人材を活用した特別授業の実施回数（学校別）	38.8回	45回	50回
授業でI C Tをほぼ毎日使用している小・中学校の児童・生徒の割合	21.1%	60%	100%
A L Tとの授業が「楽しい」と回答する児童の割合	94%	95%	95%

学校教育の充実

3 安全・安心で質の高い教育環境を確保します

8年後の姿

- 些細ないじめも見逃さない、未然防止・早期発見・早期対応の徹底により、子どもが安心して学校生活を送ることができています。

いまの姿

- 些細ないじめも見逃さない早期発見が進んだ結果、いじめ認知件数は一定数あがっています。いじめ見逃しゼロといじめ解消に向け、組織的な取組を行っています。
- 学校ごとに危機管理マニュアルを作成し、定期的に防災教育と避難訓練を実施しています。

主な取組み

- **日常的な挨拶や声かけ、教育相談、関係機関との連携等、子どもの成長・発達支援を通じて、いじめ・不登校対策の充実・強化に取り組めます。**
 - ・ いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応の取組を強化します。
 - ・ 「人間関係づくりプログラム」の活用や道徳教育の充実を図ります。
- **学校における「危機管理マニュアル」等の継続的な見直し・改善を行うとともに、デジタル技術を活用した安全教育の充実に取り組めます。**
 - ・ 学校の立地や発達段階に応じた防災教育・避難訓練を実施します。
 - ・ 危機管理マニュアルの作成と実態に応じた見直しを行います。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
いじめの解消率	82.2%	90%	90%
防災教育・避難訓練の実施回数（年3回以上）	100%	100%	100%

社会教育の充実

1 誰もが生涯にわたって学ぶことのできる環境を整備します

8年後の姿

- 誰もが気軽に学び、地域活動に参加する中で、郷土愛が醸成されています。

いまの姿

- 中央公民館を拠点とし、公民館主催教室や公民大学、スマホ教室など、多様なニーズに応じた講座等を一般向けに開催しています。今後も、社会の情勢に対応した、さまざまな学習機会の提供が求められます。

主な取組み

- 学びのニーズを把握し、全ての住民を対象に、魅力ある多様な学びの場を提供します。**
アンケートなどを介して、住民が学びたいと思っているコンテンツを適宜、把握し、ニーズに沿った公民館主催教室等を企画します。
- 自主教室や発表の場づくりなど、学びの成果を活かす機会を提供し、住民の学習意欲の向上に取り組みます。**
公民館で自主的に活動している団体（自主教室）が、日ごろの取組みの成果を発表できるよう、文化まつりなどのイベントを開催します。
- 文化活動や運動など、学びに関する活動している団体・グループの情報を住民へ情報提供します。**
文化活動や運動など、町内において広く学びに関する活動している団体・グループの情報を集約し、住民に周知することで学ぶ機会を提供するとともに、それら団体・グループの活性化を図ります。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
主催教室・自主教室等の参加者数	767人	880人	1,000人
文化活動等の成果を発表する行事の開催数	1回	1回	1回
自主教室等の新規会員数	0人	15人	30人

社会教育の充実

2 様々な体験を通じて子どもたちを育成します

8年後の姿

- 地域が子どもの学びに関わる体制が構築され、そこで得られる様々な体験を通じ、子どもたちの郷土愛が醸成されています。

いまの姿

- 児童の健全育成を促すため、小学生に対し、安心安全な居場所やさまざまな体験学習を提供する「放課後子ども教室」の開催や、中高生による「ジュニアリーダー」の活動支援を行っています。今後、これらの活動における地域の参画を活発にし、地域全体で子どもを育む体制を整えることが求められます。

主な取組み

- **放課後子ども教室など、地域と連携した様々な体験活動を実施します。**
小学生に、体験学習や地域との交流の場を提供するために、主に地区公民館単位で、放課後こども教室を定期的に開催します。
- **ジュニアリーダースクラブの活動を支援し、地域の担い手となる人材を育成します。**
町内のイベントや地域活動に積極的に関わるジュニアリーダースクラブの活動を支援し、主体性を動くことのできる未来の地域リーダーを養成します。
- **子ども会の活動を支援し、子どもと地域の交流を推進します。**
各地区の子ども会が活性化するよう、日出町子ども会育成会連絡協議会を核に、様々なイベントを開催するとともに、子ども会の立上げ等にかかる伴走型支援を行います。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
放課後こども教室（イベントのみ）延べ参加者数	751人	825人	900人
ジュニアリーダースクラブ会員数	10人	14人	18人
子ども会組織率	27.5%	28%	30%

社会教育の充実

3 地域の交流イベントを支援します

8年後の姿

- 全ての地区において、体育祭やふるさとまつりをはじめとするイベントが地域主体で開催され、住民の交流が活発に行われています。

いまの姿

- ウェルビーイングを実現するためには、地域のつながりは欠かせません。体育祭やふるさとまつり、軽スポーツ大会など、地区公民館を拠点とした地域交流事業に取り組んでいますが、社会情勢やコロナ禍により、地域コミュニティの希薄化が進行しています。

主な取組み

- **地区の体育祭やふるさとまつりなど、地域が主体的に開催するイベントを支援します。**
地区公民館単位で開催するイベントについて、地域交流が密に行われるよう、様々な支援を行います。また、地域住民が積極的に参画するよう、適宜、地域の会議を開催し、様々な意見を集約するとともに、役割分担を行い、地域が主体性を発揮できる体制を構築します。
- **コロナ禍でなくなった行事も含め、地域のニーズに沿った効果的な交流機会を創出します。**
地域のニーズを把握し、前例踏襲にとらわれることなく、効果的に地域交流の活性化を実現できる内容のイベントを企画していきます。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
全地区民を対象とした交流イベント開催数	21回	21回	21回
新たにイベントに参加するようになった地区数	0地区	2地区	4地区

社会教育の充実

4 文化・芸術に慣れ親しむ環境を整えます

8年後の姿

- 多種、多様な文化・芸術に親しむことで町民の裾野が広がり、楽しさや人とのつながりを感じることができ、豊かで潤いのある生活を送っています。

いまの姿

- 社会の成熟化によるライフスタイルの多様化や I C T ・ S N S の発展及び普及により社会環境は大きく変化しています。こうした変化は文化・芸術の分野においても波及しており、日出町文化協会では様々な情勢変化に的確に対応することが求められています。
- 日出町文化協会は高齢化の進行により、担い手不足、加盟団体の減少が懸念され、次世代に向けた文化・芸術の継承が一層難しくなっています。日出町文化協会の活動を単なる鑑賞にとどめず、若者や地域住民が体験を通じて参加できる仕組みを構築することで、持続的な文化・芸術の振興を図ることが必要です。

主な取組み

- **日出町文化協会の活動をサポートし、団体の更なる充実を図ります。**
日出町文化協会の主催事業である芸術文化鑑賞事業の開催、産業文化まつりへの参加などの活動補助を行います。また、日出町文化協会の活動に関する情報をホームページや S N S など、様々な媒体を活用して広く発信し、新規団体・会員の入会を促します。
- **日出町文化協会の活性化を図るため、文化・芸術活動の次世代の担い手の育成に取り組みます。**
文化・芸術活動に関心を持ってもらうため、関係機関・団体と連携をして、子どもから大人まで楽しみながら交流ができる体験教室などを開催します。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
日出町文化協会の部会数	19 部会	21 部会	23 部会
体験イベント参加者数	500 人	550 人	600 人

文化財・歴史の継承

1 文化財の保存・活用を推進します

8年後の姿

- 自然と風土に育まれた郷土の豊かな歴史・文化財が後世に守り伝えられ、住民に郷土愛が育まれています。

いまの姿

- いくつもの時代を経て受け継がれてきた郷土の歴史・文化財はいま、継承者の高齢化に加えて次世代の担い手が不足するなど消失の危機にあり、所在確認や記録保存、文化財（指定・登録）としての保護が急がれます。
- 郷土の歴史・文化財の継承者はいま、その維持や修復、整備、公開などの負担に苦悩する現状にあり、日出町・日出町民の共有財産としての継承者支援、また、次世代の継承者育成が求められます。

主な取組み

- **的山荘や襟江亭など郷土の歴史を伝える遺産を調査研究、文化財として保護し、次世代に伝えるための周知啓発（講座等の開催、広報等の情報発信、郷土書籍の刊行）、継承者の支援、育成に取り組みます。**
 - ・ 郷土の歴史を象徴する遺産を、文化財として指定・登録保護を推進します。
 - ・ 郷土の歴史・文化財の調査研究成果について、講座等の開催、情報発信、郷土書籍の刊行などの周知啓発を推進します。
 - ・ 文化財の巡迴活動の拡充、継承者との協働による文化財の保存・活用に取り組みます。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
指定・登録文化財の数（累積）	45件	48件	50件

文化財・歴史の継承

2 魅力や誇りを育む文化財を創出します

8年後の姿

- 日出町の6地区（南端・豊岡・日出・藤原・川崎・大神）に育まれる豊かな歴史・文化、文化財を通じて、地区民の心に地区への郷土愛が育まれています。

いまの姿

- 現在の日出町は、昭和の合併以前の6町村（南端村・豊岡町・日出町・藤原村・川崎村・大神村）からなり、これを受け継ぐ6地区にはそれぞれ特色ある歴史・文化が育まれ、地域的特性を重視した文化財保護の取り組みが求められます。
- 郷土の歴史・文化、文化財は、他に二つとない唯一無二の地域資源です。それぞれの地区にシンボルとなる文化財を創出し、これを教育や観光、産業、自治など、地区を、そして日出町の振興に広く活かされる取り組みが求められます。

主な取り組み

- **町内6地区それぞれに特色ある歴史・文化、文化財を掘り起こし、地区の振興のための地域資源として活用します。**
 - ・各地区の歴史・文化を調査研究し、それぞれ特色ある遺産の抽出、文化財として指定・登録保護に取り組みます。
 - ・各地区の特色ある歴史・文化、文化財について、各地区（地区民）に情報発信（情報共有）し、周知啓発に取り組みます。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
歴史・文化財イベントへの参加者（来場者）数	900人	1,100人	1,300人

文化財・歴史の継承

3 歴史資料館・帆足萬里記念館の更なる活用を進めます

8年後の姿

- 郷土の歴史・文化、先哲（偉人）の資料が後世に守り伝えられ、町民は郷土への学びを深めて郷土愛が育まれています。

いまの姿

- 郷土の歴史・文化、先哲（偉人）の資料はいま、所蔵者の高齢化とともに継承者の不足、維持管理の負担など、消失や散逸の危機的状況にあり、早急に資料の所在確認や収集保存、文化財（指定・登録）としての保護が急がれます。
- 郷土の歴史・文化の保存継承、先哲（偉人）の顕彰のための調査・研究、その成果を町内外に広く周知啓発するための企画展や講座等の開催、情報発信、郷土書籍の刊行など取組みが求められています。

主な取組み

- **郷土の歴史・文化、帆足萬里をはじめ郷土が輩出した先哲（偉人）を伝える資料の収集保存、調査研究を推進し、特色ある企画展の開催に取り組みます。**
 - ・ 郷土の歴史・文化、先哲ゆかりの資料の所在確認、収集保存、調査研究を推進します。
 - ・ 郷土の歴史・文化、先哲をテーマに、特色ある展示（特集展等）を企画・開催します。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
特集展の開催数（累計）	17回	29回	41回

スポーツの振興

1 スポーツでまちを盛り上げます

8年後の姿

- スポーツ大会やイベントに多くの人に参加し、スポーツを通じ、町の魅力が町内外に発信されています。

いまの姿

- 新春健康マラソンや生涯スポーツフェスタなど、町や町スポーツ協会が主催するスポーツ大会やイベントへの参加者数は減少し、また参加者の固定化が進んでいます。

主な取組み

- **生涯スポーツフェスタなどスポーツイベントの充実に取り組みます。**
 - ・ 関係機関との連携をはかり、イベント内容の充実に取り組みます。
 - ・ スポーツイベント開催等の情報をHP、SNS、広報誌等を活用し、広く発信します。
 - ・ 町外者が多く参加する新春健康マラソンや、町内の幅広い世代が参加するスポーツイベントにおいて、まちの魅力の発信に努めます。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
町内スポーツ大会・イベントの参加者数	1,149人	1,300人	1,400人

スポーツの振興

2 スポーツ人口を増やします

8年後の姿

- スポーツに取り組む人が増え、スポーツを通して互いにつながり、心も体も健やかに暮らしています。競技人口の増加が、各競技スポーツの強化にもつながっています。

いまの姿

- ライフステージの変化や多忙な日常により、スポーツに触れ合う機会のない人がいるため、ライフスタイルに合わせた多様な機会の提供や、気軽に始められるきっかけの創出が必要です。
- 少子化や人口減少が進み、競技スポーツへの参加者が減少しています。

主な取組み

- **スポーツへ触れ合う機会を提供するため、総合型地域スポーツクラブを支援します。**
多様な世代が多種目のスポーツ活動に参加するための受け皿となる、総合型地域スポーツクラブの運営を支援します。
- **スポーツ協会、スポーツ少年団をはじめとする各組織との連携をはかり、競技力向上に取り組めます。**
競技スポーツを維持するため、各団体への支援、上位大会に出場する個人・チームへの支援、コーチ研修会の実施等、競技力向上に向けた取組みを行います。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
総合型地域スポーツクラブ会員数	270人	300人	320人
県民スポーツ大会入賞種目数	19種目	22種目	25種目

スポーツの振興

3 安心してスポーツが楽しめる環境を整備します

8年後の姿

- スポーツ施設の整備・更新が計画的に実施され、安心・安全にスポーツを楽しめる環境が整っています。

いまの姿

- スポーツ施設の老朽化が進んでいます。社会状況や、多様化する住民ニーズへの対応を踏まえながら、計画的な更新を進めています。

主な取組み

- **計画的にスポーツ施設の整備・更新を行い、機能維持に取り組みます。**
 - ・ 老朽化の進むスポーツ施設について、公共施設総合管理計画、個別施設計画に基づき整備・更新を計画的に実施します。
 - ・ 既存施設を安心して利用できるよう、定期的な点検・維持管理を継続して実施します。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
主要スポーツ施設の定期点検率	100%	100%	100%

図書館の充実

1 図書館活動・サービスを充実します

8年後の姿

- 蔵書や施設環境、レファレンスの充実した図書館に、毎日多くの人々が訪れ、学びを深めています。

いまの姿

- 平成27年7月に複合施設「交流ひろばHiCaLi」に移転開館した日出町立図書館の来館者数は、翌年度の109,677人を最高に年々減少し、コロナ禍の影響もあり令和2年度は57,744人まで落ち込みました。しかし、現在は89,419人（令和6年度）と持ち直してきています。

主な取組み

- 利用者ニーズに応え、資料を計画的に収集・整理・保存し、蔵書構成の充実に取り組みます。

利用者ニーズについては、アンケートやヒアリングにて利用者が求めるものを把握します。多様な資料を収集し、また資料の状態管理をして、劣化本は補修や交換をします。定期的な書架棚の見直しをすることにより蔵書構成の充実を図ります。

- 町民が利用しやすい工夫をし、安全で快適な施設環境の整備を行います。

アンケート等により絵本コーナーにクッション施工や、学習室内の老朽椅子交換等、利用者ニーズを把握し館内の快適な環境を作ります。

- 調べもの相談（レファレンスサービス）の充実に取り組みます。

県立図書館等での定期的な研修により、レファレンススキルの向上に取り組みます。

■成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
図書館蔵書冊数	99,795冊	115,000冊	127,000冊
学習室椅子交換（全18席）	9席	18席	18席
県立図書館年間研修会出席回数	4回	4回	4回

図書館の充実

2 魅力的な展示やイベントを開催します

8年後の姿

- 館内展示やイベントが充実した図書館に、毎日多くの人を訪れ、学びを深めています。

いまの姿

- 図書館に足を運んでもらえるよう、季節や行事、時事・社会問題等、来館者の興味を引く展示や、魅力的な催し物の充実を図っています。

主な取組み

- **季節や行事、時事、社会問題等、来館者の興味を引く展示やイベントを開催します。**
季節をテーマにした展示や時事を反映した展示等、正月イベントでは「本の福袋」など、来館者が興味を引くイベント開催します。
- **各種イベント等を通して図書館の情報を発信し、新たな利用者層の拡大に取り組みます。**
図書館ミニコンサートやブックスタート、講演会や子ども関連イベントの開催等により、新規利用者の増加を図ります。
- **企画展示等を通じ、行政への理解を広げていきます。**
「広報ひじ」と連携した人権関係など、様々な企画展示を定期的に行い、行政への理解が深まる取組みを行います。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
展示年間回数	12回	12回	12回
図書館来館者数	89,419人	99,000人	106,000人
行政との関連展示年間回数	12回	12回	12回

図書館の充実

3 子どもの読書活動を推進します

8年後の姿

- 図書館等関係機関との連携・協力体制の充実により、子どもの読書活動を推進しています。

いまの姿

- 図書館関係団体間の交流を促進し、活動の活性化を目指してきましたが、読み聞かせボランティアなどの担い手不足が課題となっています。

主な取組み

- **県立図書館、学校図書館、幼稚園など関係機関との連携・協力体制を整備します。**
研修会等を通じて県立図書館との連携・協力体制を図ります。また、町立小・中学校、幼稚園への団体貸出を行うことにより、子どもたちの読書活動を支援します。
- **読書ボランティア等の関係者が交流を深め、情報共有できる機会を提供します。**
読書ボランティアを対象とした研修会を開催し、連携・協力体制が深まる取組みを行います。
- **ブックスタート事業などを通じ、乳幼児期からの読み聞かせを推進します。**
館内でのブックスタート事業に取り組みます。「メモリアル手形アート」などのイベントを開催し、記念品のプレゼントなどの取組みにより、参加者の拡大を図ります。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
幼稚園等への団体貸出年間回数	12回	12回	12回
交流会年間開催数	1回	1回	1回
ブックスタート参加者数（該当乳児）	94人	100人	110人

人権意識の向上

1 人権に対する正しい知識と理解を深める取り組みを推進します

8年後の姿

- 町民一人一人が人権意識を高め、偏見や差別を持つことなく、お互いを認め合って暮らしています。

いまの姿

- コロナ禍後、対面での人権フェスティバルや人権講座での人権講演会を再開しており、参加人数は回復傾向にあります。

主な取り組み

- **多様な媒体で、講演会などの周知の充実に取り組みます。**
できるだけ多くの住民に、人権に触れる機会を提供できるよう、町報のみならず、町ホームページや公式SNS、報道機関など、様々な広報媒体を利用して周知を強化します。
- **部落差別をはじめ、女性、子ども、障がい者、高齢者、外国人など多様な人権問題の解決に向けて、正しい知識を身につけることのできる機会を提供します。**
様々な人権についての情報を住民へ提供するために、啓発チラシを定期的に発行します。
- **人権フェスティバル作品コンテストを開催し、児童・生徒が、自らの体験により人権について考える機会を促します。**
人権フェスティバル作品コンテストを開催するとともに、多くの人に参加してもらえるように、応募しやすい体制の整備及び副賞の充実などを実施します。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和6年度	令和11年度	令和15年度
人権講演会の参加者数	604人	700人	800人
人権啓発チラシの発行回数	7回	7回	7回
人権フェスティバル作品コンテスト応募数	301作品	325作品	350作品

職員満足度の向上

1 誰もが働きやすい職場づくりを推進します

8年後の姿

- 多様化する学校の教育課題の解決に向けて、専門人材や関係機関と連携した「チーム学校」による組織的な取組が機能しています。

いまの姿

- 近年、これまで学校を支えてきた多くのベテラン教職員が退職を迎え、若手教職員の育成や「学校における働き方改革」が急務となっています。このような中、業務効率化、教職員の超過勤務時間の削減及びワークライフバランス向上のため、専門スタッフの配置拡充やICTを活用した校務の推進により、「学校における働き方改革」は、一定の成果が表れています。一方で、依然として長時間勤務の実態があり、業務改善とともに教職員の人員不足解消が望まれています。

主な取組み

- **学校における指導・運営体制の充実を図り、働き方改革を推進します。**
 - ・ スクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールカウンセラー（SC）、部活動指導員等の専門スタッフを活用した取組みを進めます。
 - ・ AIやICT等の先端技術を活用し、業務の効率化を図ります。

■ 成果指標

指標名	基準値	目標値	
	令和7年度	令和11年度	令和15年度
教職員の1か月の平均超過勤務時間	30時間	30時間	29時間

4 SDGsの取組み

(1) SDGs とは

持続可能な開発のための目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、平成27年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、令和12年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(2) 日出町の取組み

日出町では、令和6年10月11日に「日出町SDGs推進宣言」を行い、令和7年6月23日に内閣府から持続可能なまちづくりに取り組む「SDGs未来都市」に選定されており、様々な分野でSDGsの取組みを進めています。

(3) 日出町教育振興計画とSDGs

教育の分野では、国の定める教育基本振興計画において、SDGsの取組みを前提とした「持続可能な社会の作り手の育成」が総括的な基本方針として掲げられています。

少子化・人口減少が進む我が国において、将来にわたって財政や社会保障などの社会制度を持続可能なものとし、現在の経済水準を維持しつつ、活力あふれる社会を実現していくためには、一人ひとりの生産性向上と多様な人材の社会参画を促進する必要があり、「人への投資」を通じて人材を育成しなければなりません。

このことから、日出町においても「持続可能な社会の作り手の育成」を推進すべく、この計画の基本目標とSDGsとの関連付けを行い、積極的に取組みを進めていきます。



表 第3期日出町教育振興計画とSDGsとの関連

基本目標	SDGsのゴール			
1 教育環境の充実	4 質の高い教育をみんなに 	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	13 気候変動に具体的な対策を 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
2 学校教育の充実	4 質の高い教育をみんなに 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	
3 社会教育の充実	3 すべての人に健康と福祉を 	11 住み続けられるまちづくりを 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	
4 文化財・歴史の継承	4 質の高い教育をみんなに 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
5 スポーツの振興	3 すべての人に健康と福祉を 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 		
6 図書館の充実	4 質の高い教育をみんなに 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	
7 人権意識の向上	1 貧困をなくそう 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	8 働きがいも経済成長も 
	10 人や国の不平等をなくそう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	
8 職員満足度の向上	5 ジェンダー平等を実現しよう 	8 働きがいも経済成長も 	11 住み続けられるまちづくりを 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 